

12. 研究推進委員会^{*1}

田川 まさみ^{*2}（委員長・鹿児島大学医歯学総合研究科医歯学教育開発センター）

本委員会は、前期までの教育研究・利益相反委員会の教育研究に関する領域を引き継ぎ、21期の活動を開始した。大学での修士課程、博士課程で医学教育を学び研究を实践する環境が整いつつあり、国際的学術誌での発表論文数も増加している状況の中で、本委員会が果たす役割は、医学教育に関わっている人の医学教育研究への関心を高め、これから研究を開始する人を支援することと位置付けている。そのために、1) 医学教育研究及び研究成果の発表に関するワークショップ等の開催、2) 編集委員会、学会大会と連携し、研究発表の質向上に向けたルール作りと運営、3) 教育機関での医学教育倫理審査等の相談、情報提供を活動の柱と位置づけ、将来的には研究への導入から論文発表に至る過程を支援する活動を予定している。

2020年は、第53回日本医学教育学会学術大会の企画として、これまで実績を重ねてきたメンタリングプログラムをWebで行い、事前に登録したメンターが指導を希望するメンティと1:1で対話し、研究の進め方や研究者としてのキャリアパスの紹介、質疑等により支援した。

「医学教育研究の基本を学ぶワークショップ」では自由なグループ討議と論文発表、倫理審査についての紹介などを行った。

2022年1月にて開催された岐阜大学医学教育開発研究センター主催第81回医学教育セミナーとワークショップでは、学会委員会として第16回となる医学教育研究技法ワークショップとして「医療者教育の研究を立案してみよう」をテーマに2日間の活動を行った。研究を実際に実施するためのリサーチクエストや仮設の設定、研究方法の選択、倫理的配慮等について学ぶ機会を提供した。

人を対象とする研究倫理指針の改定に伴い、国内の各教育研究機関では新しい倫理審査体制が整備されており、その実態も調査する予定である。学会員からの倫理審査に関する問い合わせ等に対して速やかに受審のための状況提供する準備を整えている。

副委員長：藤倉輝道、委員：石川ひろの、今福倫太郎、大久保由美子、片岡仁美、菊川誠、武富喜久子、オブザーバー：西城卓也

*1 Committee for Educational Research

*2 Masami Tagawa

13. 医学教育賞等特別委員会^{*1}

田川 まさみ^{*2}（委員長・鹿児島大学医歯学総合研究科医歯学教育開発センター）

本委員会は、医学教育賞（牛場賞、日野原賞、懸田賞）の受賞者と、特別会員、名誉会員、

名誉会長の推薦を理事会に行うことを業務としている。委員構成は庶務担当副理事長、学会誌